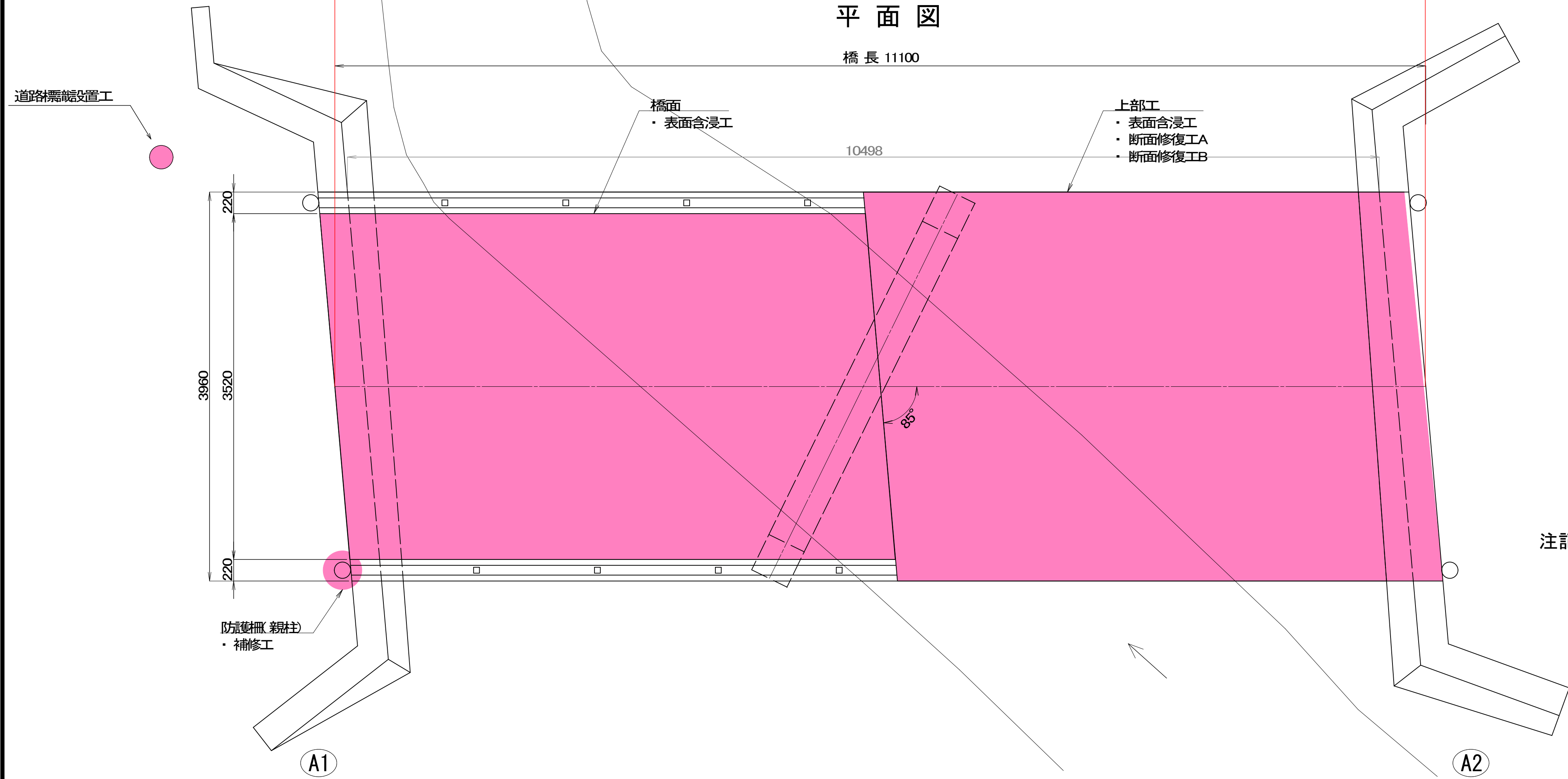


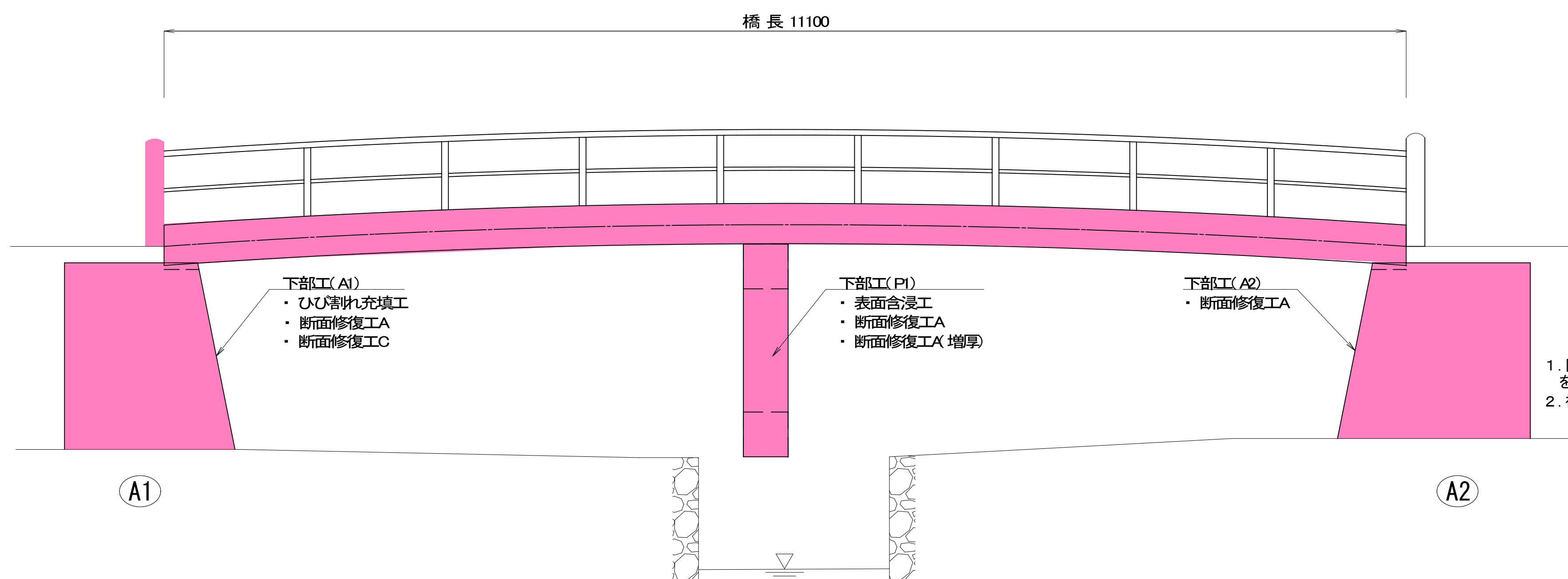
# 糸かけ橋 補修一般図 S=1:30

令和7年度 糸かけ橋橋梁補修工事  
橋梁補修工 N=1式

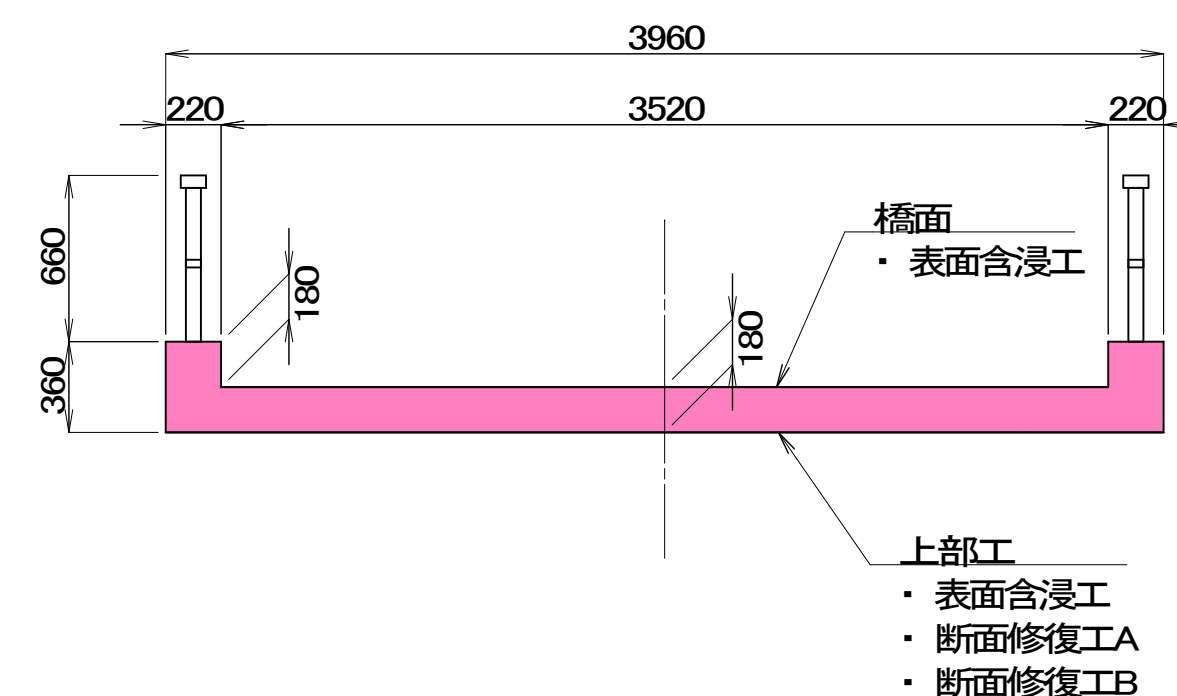
平面図



側面図



断面図



- 図中の補修設計は、現地調査等に基づくものであり、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の了承を得た上で行うこと。
- 補修箇所及び形状等は現場にて確認すること。

当初設計

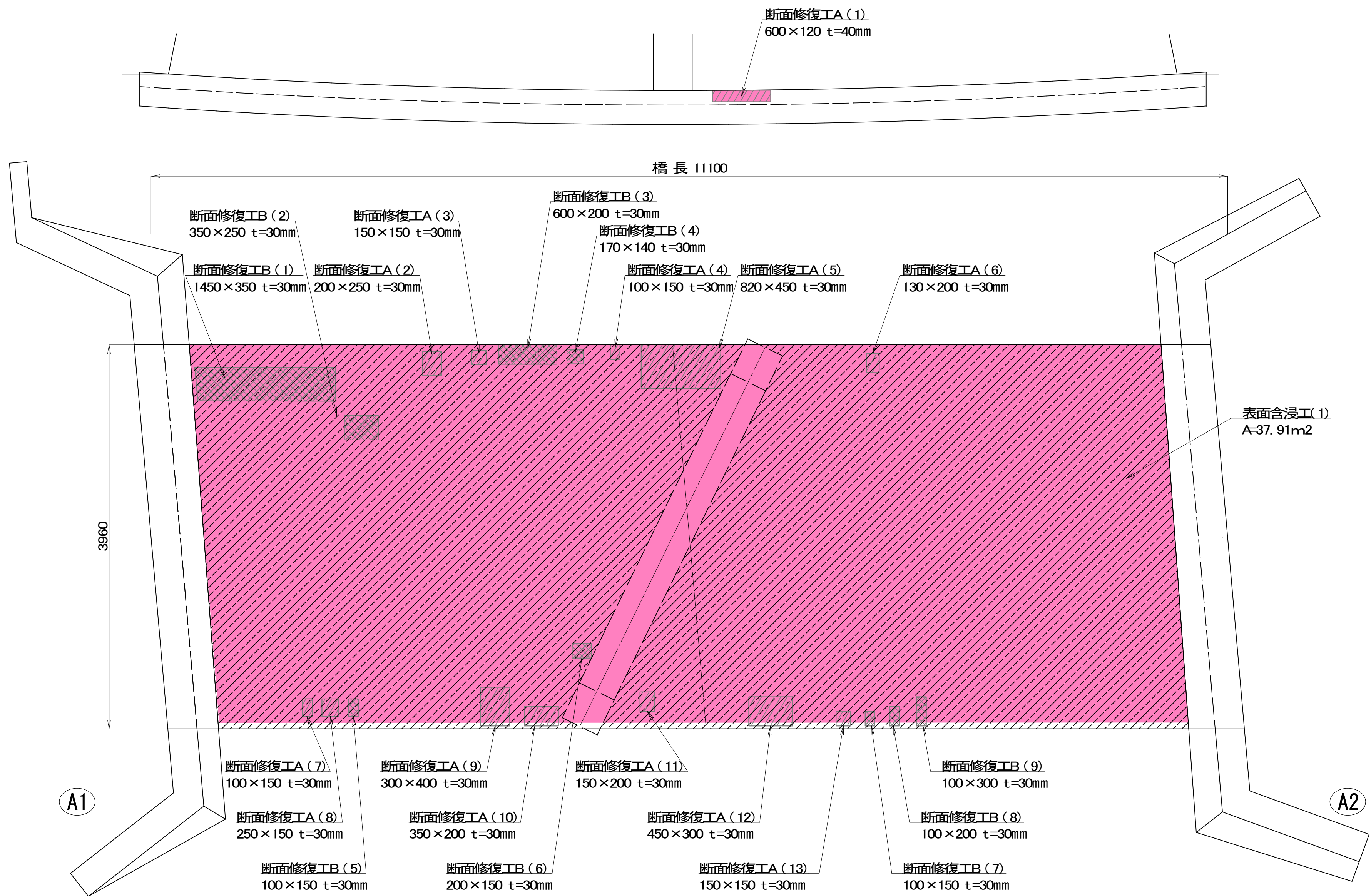
令和7年度 工事番号 第 2043 号				
会津若松市 蜚養町 地内				
糸かけ橋 橋梁補修工事				
補修一般図				
縮尺	図示	図面 全 7 葉の 1		
設計		製図	検算	
会津若松市建設部道路課				

糸かけ橋 上部工補修図 1 : 30

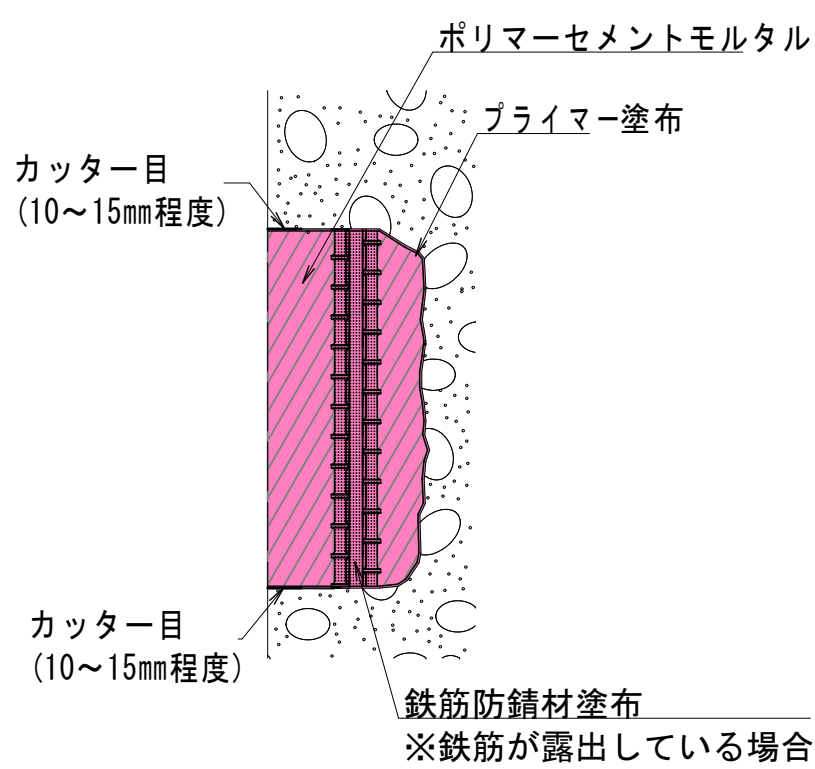
＜床 版＞

側 面 図

平 面 図



断面修復工A詳細図



【作業手順】

準備工

はつり工

鉄筋防錆処理

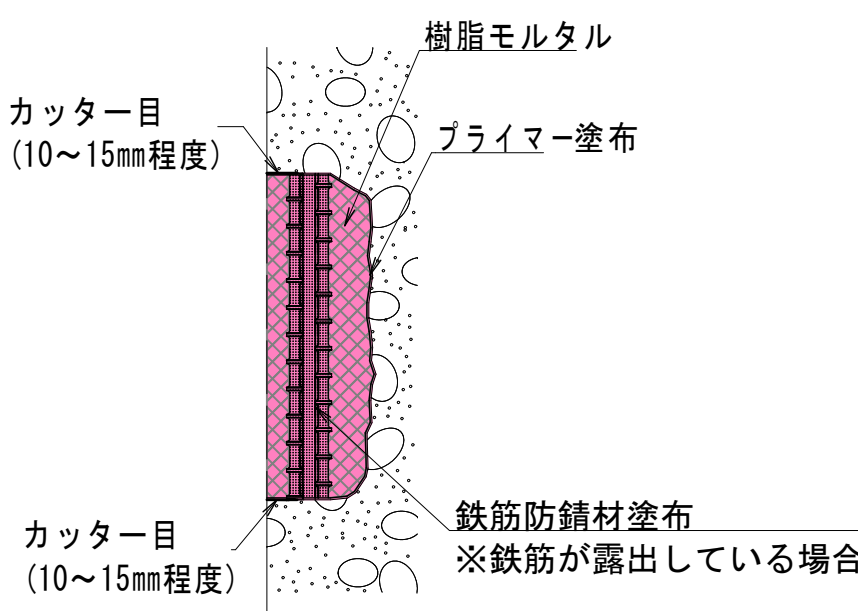
プライマー塗布

断面修復工(左官)

養生

※冬季は給熱(5℃以上)

断面修復工B詳細図



【作業手順】

準備工

はつり工

鉄筋防錆処理

プライマー塗布

断面修復工(左官)

養生

※冬季は給熱(5℃以上)

表面含浸工詳細図

【カルシウム材+けい酸塩系含浸材】  
※ひび割れ補修(0.2mm未満)

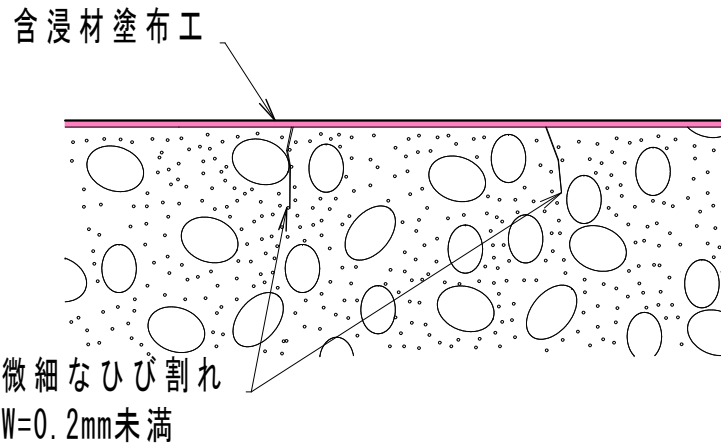
【作業手順】

準備工

表面清掃

含浸材塗布工

※冬季は給熱(5℃以上)



数 量 表

工法	No.	位置	寸法 (mm)	厚さ (mm)	長さ (m)	面積 (㎡)	体積 (㎥)
断面修復工(A)	1	床版	600×120	40	1.44	0.072	0.0029
	2		200×250	30	0.90	0.050	0.0015
	3		150×150	30	0.60	0.023	0.0007
	4		100×150	30	0.50	0.015	0.0005
	5		820×450	30	2.54	0.369	0.0111
	6		130×200	30	0.66	0.026	0.0008
	7		100×150	30	0.50	0.015	0.0005
	8		250×150	30	0.80	0.038	0.0011
	9		300×400	30	1.40	0.120	0.0036
	10		350×200	30	1.10	0.070	0.0021
	11		150×200	30	0.70	0.030	0.0009
	12		450×300	30	1.50	0.135	0.0041
	13		150×150	30	0.60	0.023	0.0007
		合計			13.24	0.595	0.0305

数 量 表

工法	No.	位置	寸法 (mm)	厚さ (mm)	長さ (m)	面積 (㎡)	体積 (㎥)
断面修復工(B)	1	床版	1450×350	30	3.60	0.508	0.0152
	2		350×250	30	1.10	0.088	0.0026
	3		600×200	30	1.60	0.120	0.0036
	4		170×140	30	0.62	0.024	0.0007
	5		100×150	30	0.50	0.015	0.0005
	6		200×150	30	0.70	0.030	0.0009
	7		100×150	30	0.50	0.015	0.0005
	8		100×200	30	0.60	0.020	0.0006
	9		100×300	30	0.90	0.030	0.0009
		合計			10.12	0.849	0.0255

数 量 表

工法	No.	位置	寸法 (mm)	数量 (㎡)	備考
表面含浸工	1	床版下層	CAD参照	37.91	
		合計		37.91	

注記

- 図中の補修設計は、現地調査等に基づくものであり、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の下承を得た上で行うこと。
- 補修箇所及び形状等は現場にて確認すること。
- コンクリートはつりにより、露出した鉄筋には防錆処理を行うこと。  
防錆処理は、既設鉄筋をワイヤーブラシでケレンし、防錆剤を塗布する。
- 左官工法による断面修復は、空隙を残さないように施工すること。  
断面修復工で重ね塗りを行う場合には、重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを考慮して行うこと。
- はつり後、鉄筋に腐食が見られる場合は、鉄筋の裏側まではつりと断面修復を行うこと。
- 露出鉄筋の延長上にひびわれがある場合は、打音によりうきの確認を行うこと。はつり端部に腐食が見られる場合は、鉄筋の健全部が露出するまではつりを継続すること。
- 表面含浸工は、断面修復材硬化後（養生完了後）に施工すること。

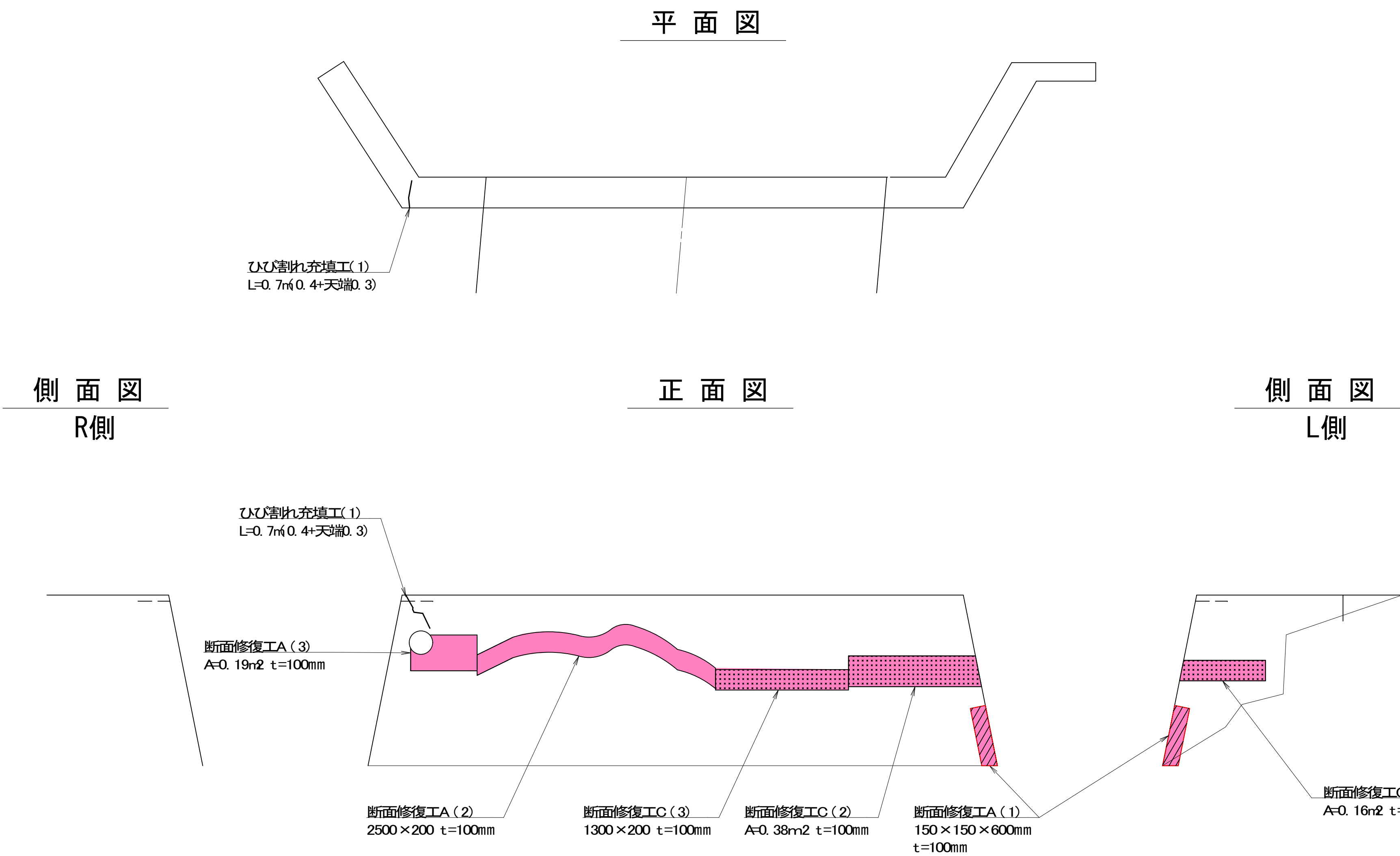
当初設計

令和7年度 工事番号 第 2043 号			
会津若松市 養養町 地内			
糸かけ橋 橋梁補修工事			
上部工補修図			
縮 尺	図 示	図面 全 7 葉の 2	
設 計		製 図	検 算
会 津 若 松 市 建 設 部 道 路 課			



糸かけ橋 下部工補修図(1) 1 : 30

<A1橋台>



数量表

工 法	No.	位 置	寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	延 べ 面 (㎡)	面 積 (㎡)	体 積 (㎥)
断面修復工 (A)	1	A1橋台	150×600	150	1.50	0.090	0.0135
	2		2500×200	100	5.40	0.500	0.0500
	3		CAD充填	100	1.70	0.190	0.0190
合 計					8.60	0.780	0.0825

数量表

工 法	No.	位 置	寸 法 (mm)	厚 さ (mm)	延 べ 面 積 (㎡)	面 積 (㎡)	体 積 (m3)
断面修復工(C)	1	A1橋台	CAD充填	100	1.84	0.160	0.0160
	2		CAD充填	100	2.84	0.380	0.0380
	3		1300×200	100	3.00	0.260	0.0260
合 計					7.68	0.800	0.0800

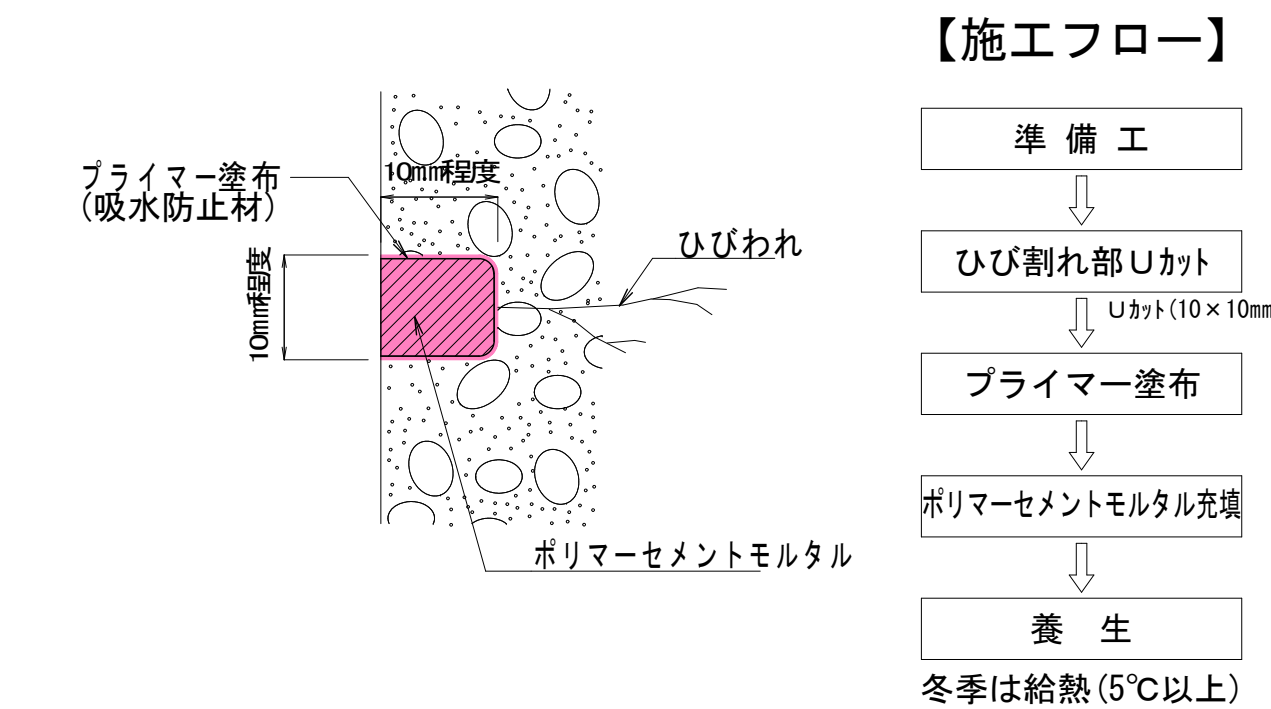
数量表

工法	No.	位置	寸法 (mm)	高さ (mm)	長さ (m)	面積 (m <sup>2</sup> )	体積 (m <sup>3</sup> )
ひびわれ充填工	1	A1橋台	100×100	100	0.70	0.070	0.0070
合計					0.70	0.070	0.0070

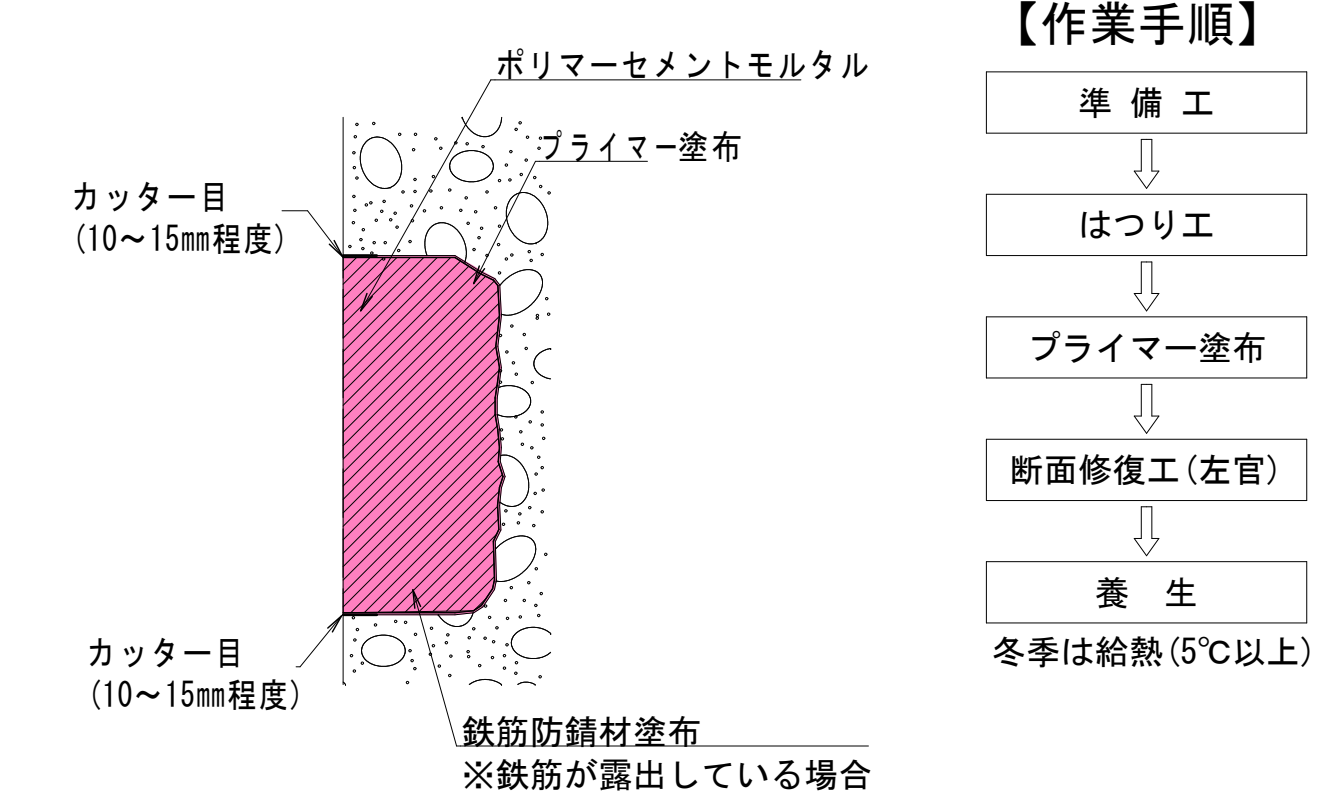
注記

- 図中の補修設計は、現地調査等に基づくものであり、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の下承を得た上で行うこと。
- 補修箇所及び形状等は現場にて確認すること。
- 左官工法による断面修復は、空隙を残さないように施工すること。  
断面修復工で重ね塗りを行う場合には、重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを考慮して行うこと。
- 漏水箇所は、止水を確実にしてから断面修復材を充填すること。

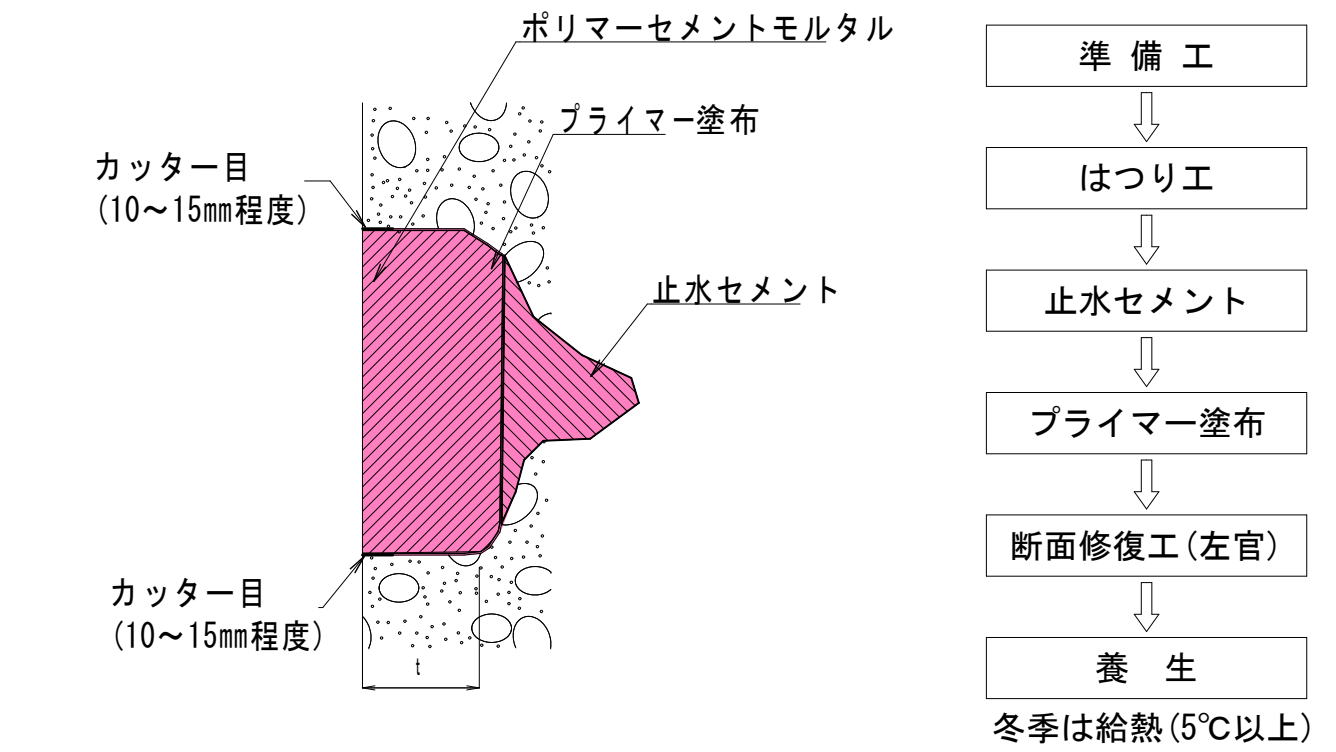
ひびわれ充填工詳細図



断面修復工A詳細図



断面修復工C詳細図  
[漏水部]

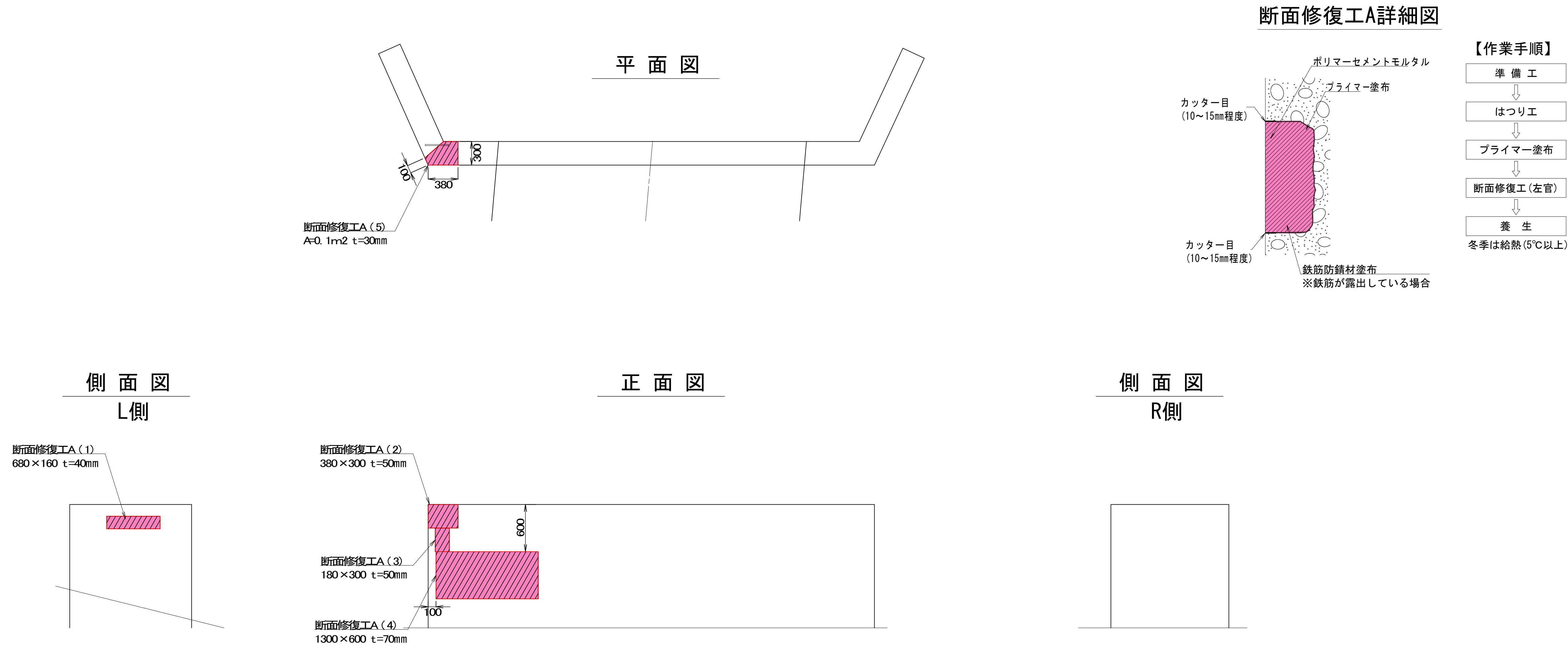


当初設計

令和7年度 工事番号 第 2043 号			
会津若松市 蜷巻町 地内			
糸かけ橋 橋梁補修工事			
下部工補修図(1)			
縮尺	図示	図面 全 7 葉の 3	
設計		製図	検算
会津若松市建設部道路課			

糸かけ橋 下部工補修図(2) 1 : 30

<A2橋台>



数量表

工法	No.	位置	寸法 (mm)	厚さ (mm)	長さ (m)	面積 (m2)	体積 (m3)
断面修復工(A)	1	A2橋台	680×160	40	1.68	0.109	0.0044
	2		380×300	50	1.38	0.114	0.0057
	3		180×300	50	0.98	0.054	0.0027
	4		1300×600	70	3.80	0.780	0.0346
	5	CAD求積		30	1.20	0.100	0.0030
合計					9.00	1.157	0.0704

注記

- 図中の補修設計は、現地調査等に基づくものであり、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の了承を得た上で行うこと。
- 補修箇所及び形状等は現場にて確認すること。
- 左官工法による断面修復は、空隙を残さないように施工すること。  
断面修復工で重ね塗りを行う場合には、重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを考慮して行うこと。

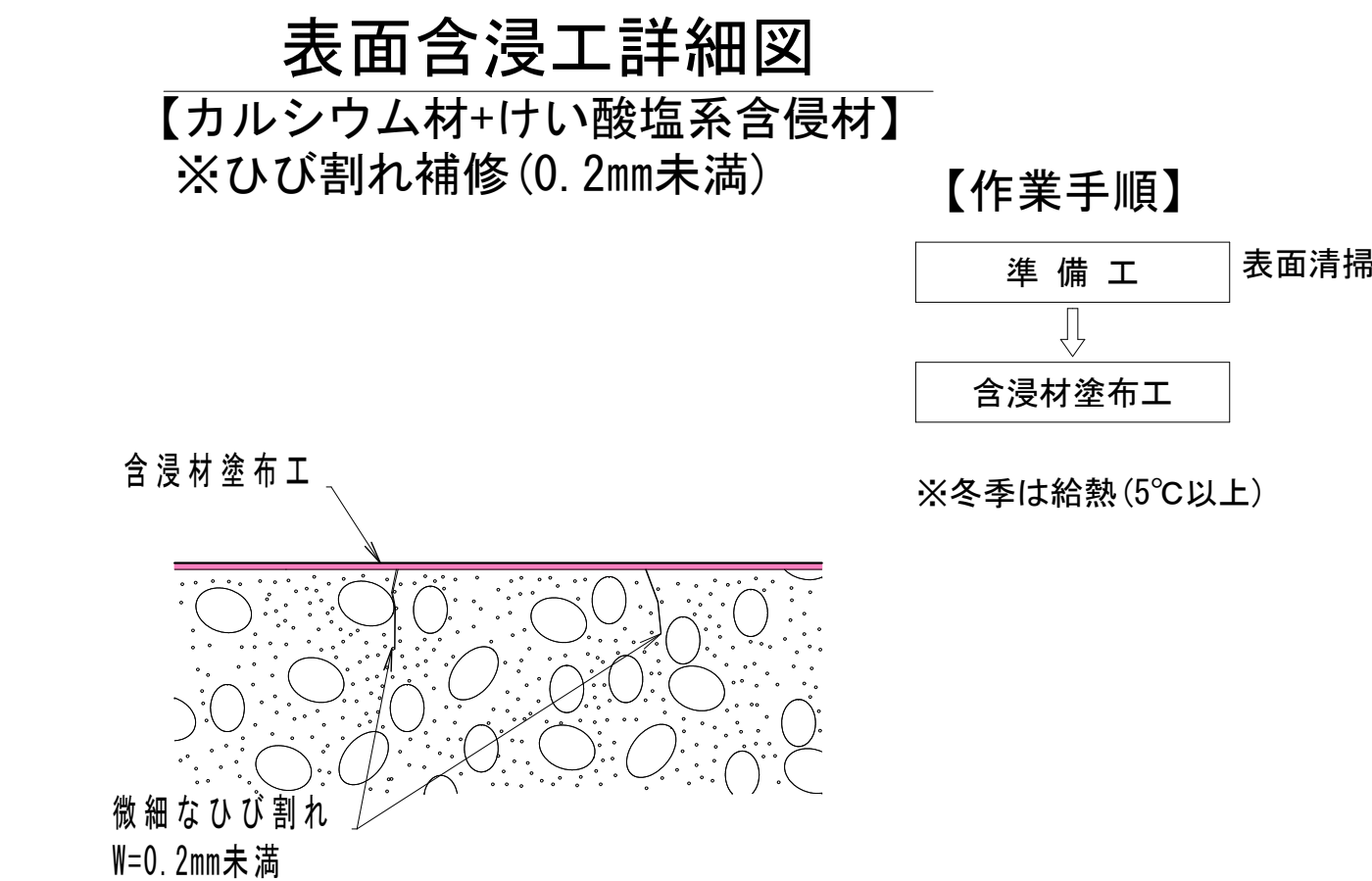
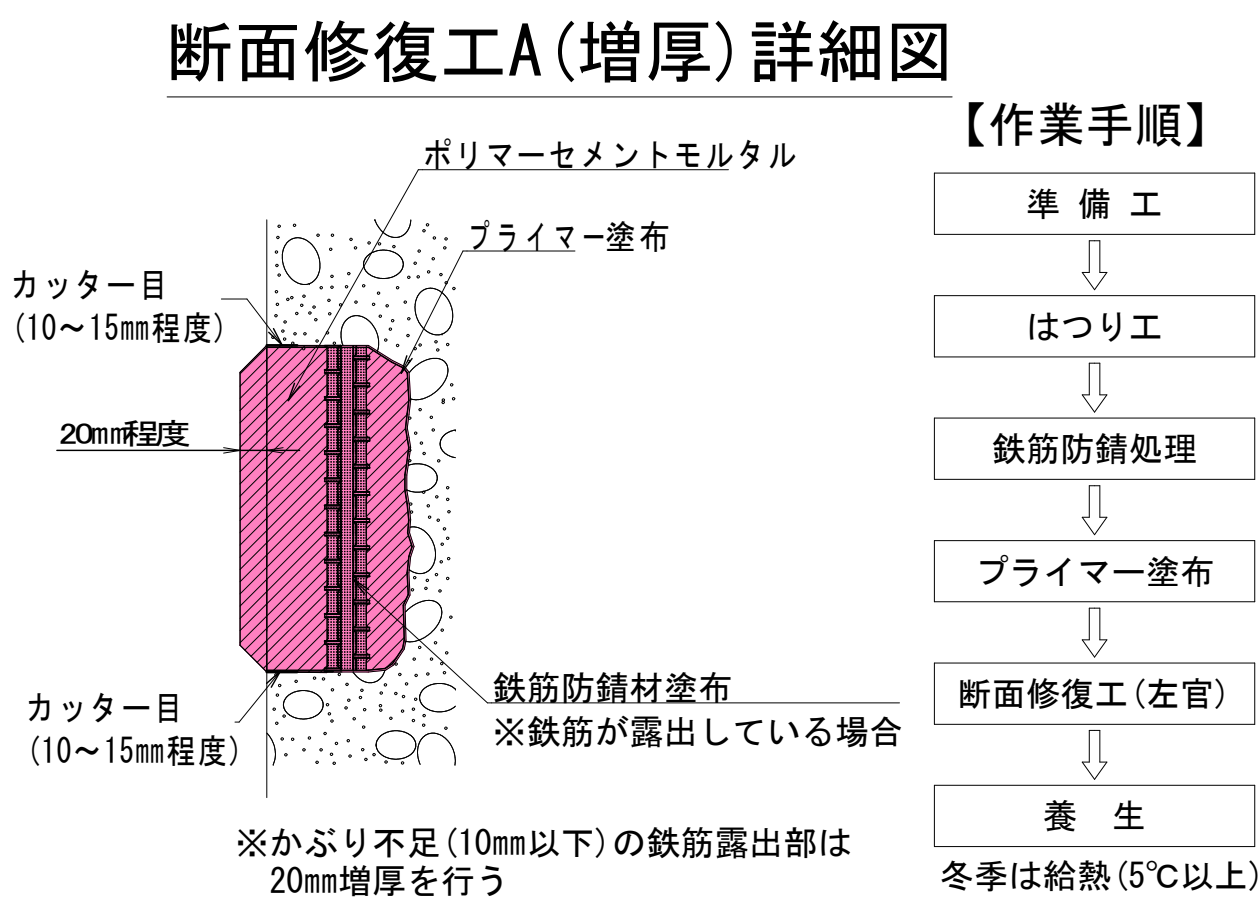
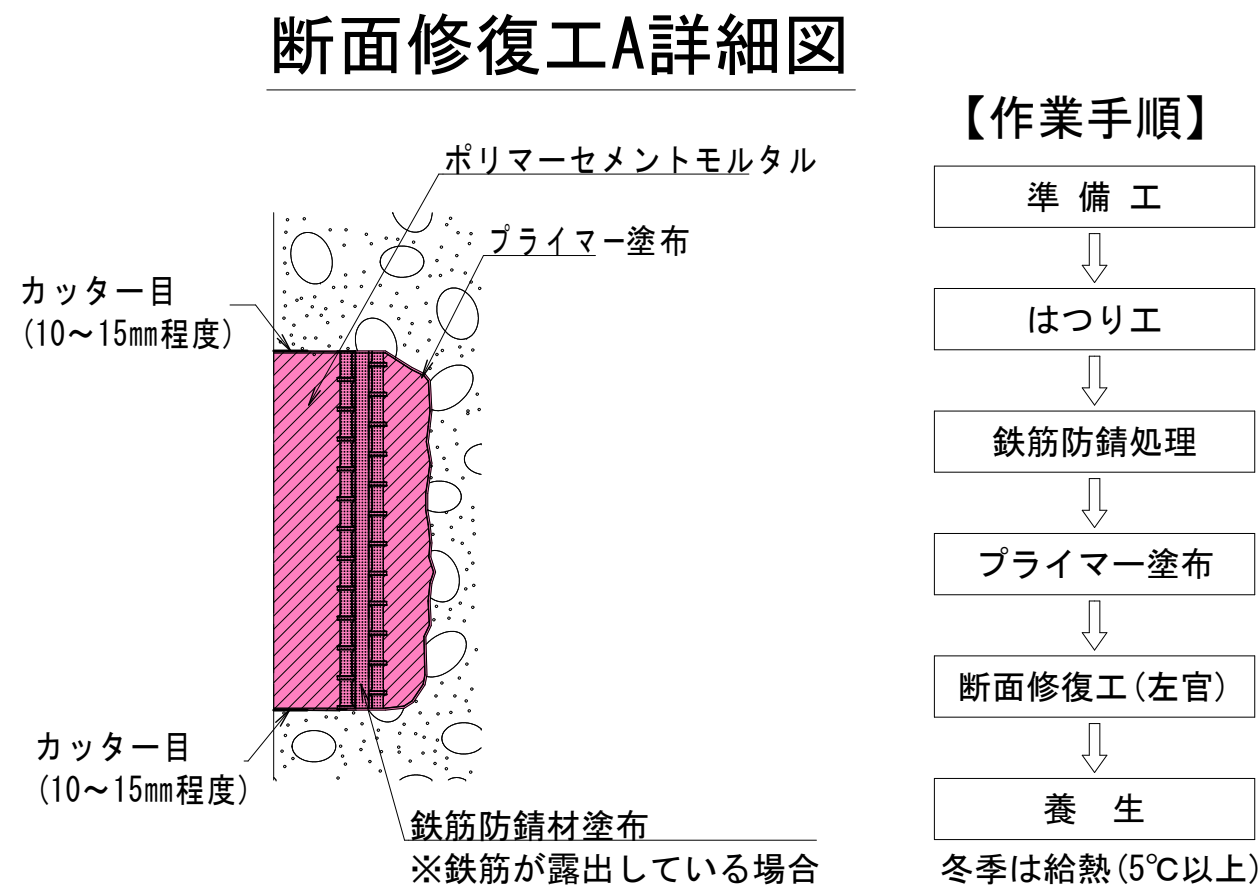
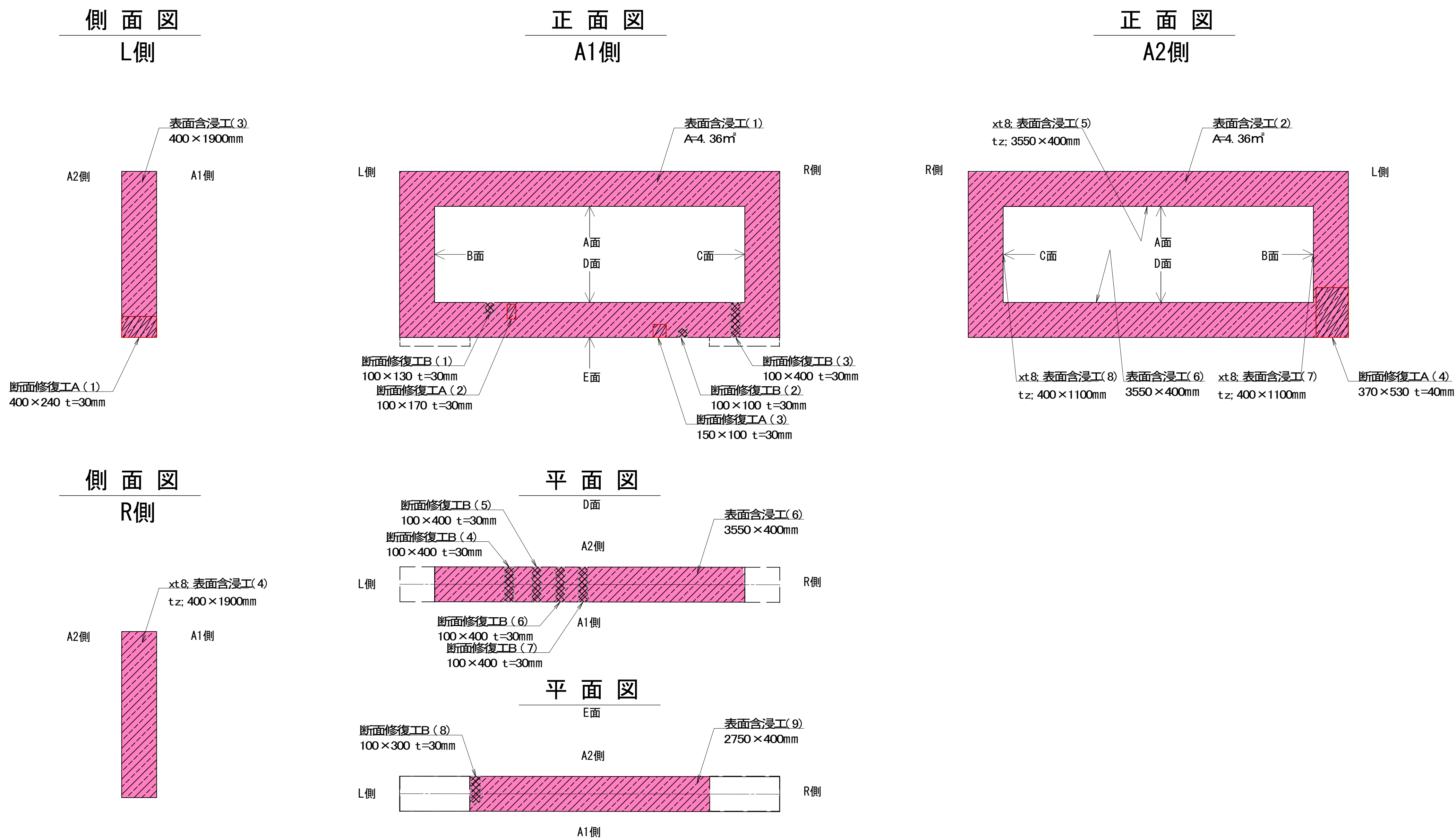
当初設計

令和7年度 工事番号 第 2043 号			
会津若松市 養蚕町 地内			
糸かけ橋 橋梁補修工事			
下部工補修図(2)			
縮尺	図示	図面全7葉の4	
設計		製図	検算
会津若松市建設部道路課			



糸かけ橋 下部工補修図(3) 1 : 30

<P1橋脚>



数量表

工 法	No.	位 置	寸 法 (mm)	深 さ (mm)	ひびく量 (m)	面 積 (㎡)	体 積 (m³)
断面修復工 (A)	1	P1橋脚	400×240	30	1.28	0.096	0.0029
	2		100×170	30	0.017	0.0005	
	3		150×100	30	0.015	0.0005	
	4		370×530	40	1.80	0.196	0.0078
合 計					4.12	0.324	0.0117

数量表

工法	No.	位置	寸法 (mm)	深さ (mm)	ひび割れ (m)	面積 (m2)	体積 (m3)
断面修復工(B)	1	P1橋脚	100×130	30	0.45	0.013	0.0004
	2		100×100	30	0.40	0.010	0.0003
	3		100×400	30	0.80	0.040	0.0012
	4		100×400	30	0.80	0.040	0.0012
	5		100×400	30	0.80	0.040	0.0012
	6		100×400	30	0.80	0.040	0.0012
	7		100×400	30	0.80	0.040	0.0012
	8		100×300	30	0.80	0.030	0.0009
合計					6.66	0.253	0.0076

数量表

工 法	No.	位 置	寸 法 ( m )	数 量 ( m2 )
表面含浸工	1	P1橋脚	CAD求 積	4.36
	2		CAD求 積	4.36
	3		0.40×1.90	0.76
	4		0.40×1.90	0.76
	5		3.55×0.40	1.42
	6		3.55×0.40	1.42
	7		0.40×1.10	0.44
	8		0.40×1.10	0.44
	9		2.75×0.40	1.10
合 計				15.06

注記

- 図中の補修設計は、現地調査等に基づくものであり、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の了承を得た上で行うこと。
- 補修箇所及び形状等は現場にて確認すること。
- コンクリートはつりにより、露出した鉄筋には防錆処理を行うこと。防錆処理は、既設鉄筋をワイヤーブラシでケレンし、防錆剤を塗布する。
- 左官工法による断面修復は、空隙を残さないように施工すること。断面修復工で重ね塗りを行う場合には、重ね塗りの時間間隔や断面修復部の凝結状態などを考慮して行うこと。
- はつり後、鉄筋に腐食が見られる場合は、鉄筋の裏側まではつりと断面修復を行うこと。

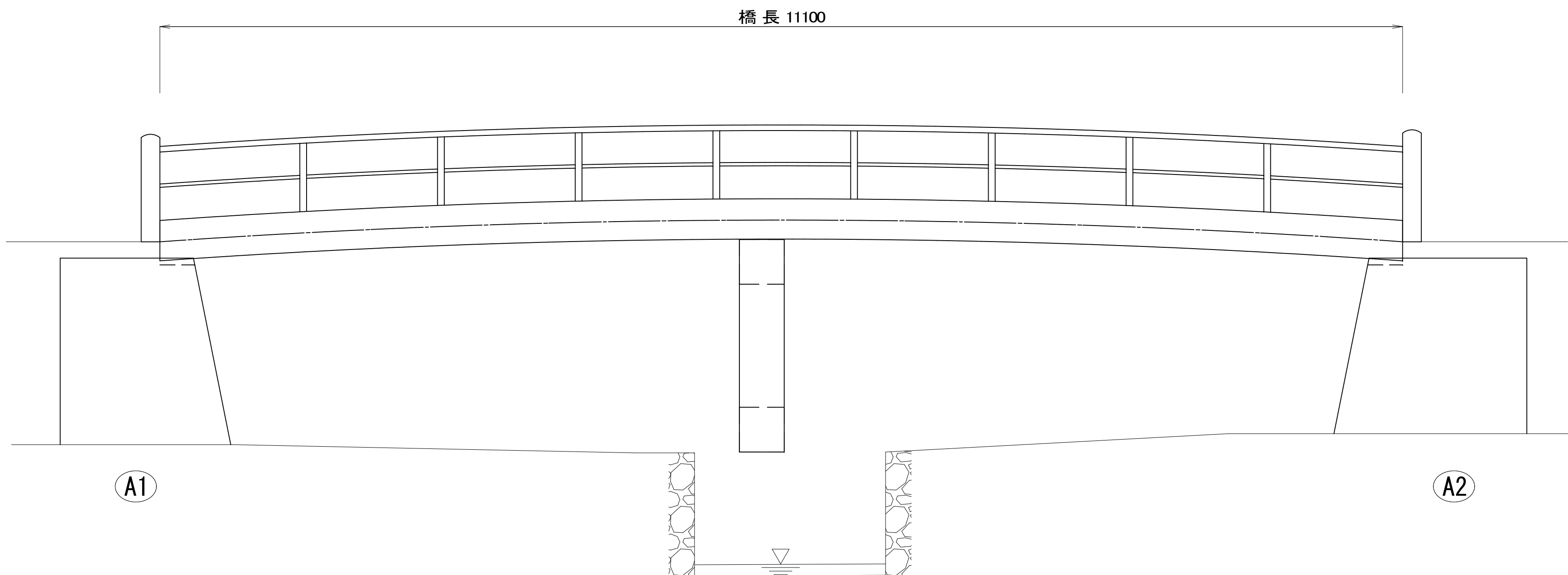
qj: 6. 表面含浸工は、断面修復材硬化後(養生完了後)に施工すること。

当初設計

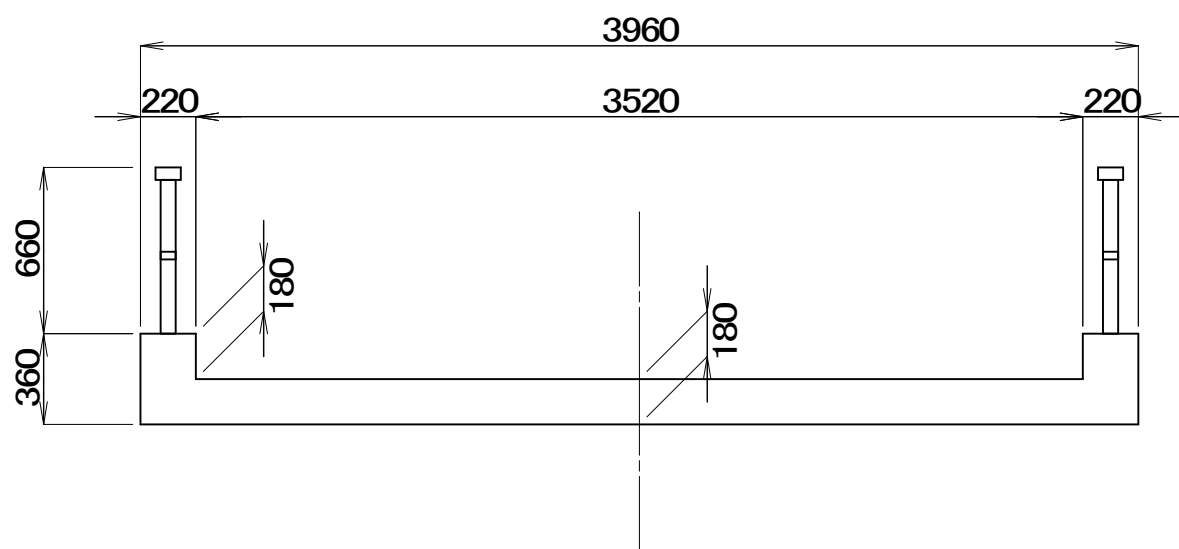
令和7年度 工事番号 第 2043 号			
会津若松市 養蚕町 地内			
糸かけ橋 橋梁補修工事			
下部工補修図(3)			
縮尺	図示	図面全7葉の5	
設計		製図	検査
会津若松市建設部道路課			

糸かけ橋 橋面補修図 1 : 30

側面図



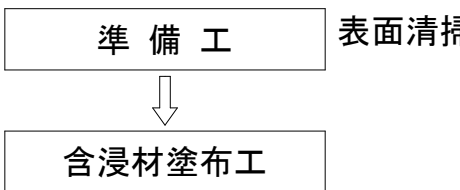
断面図



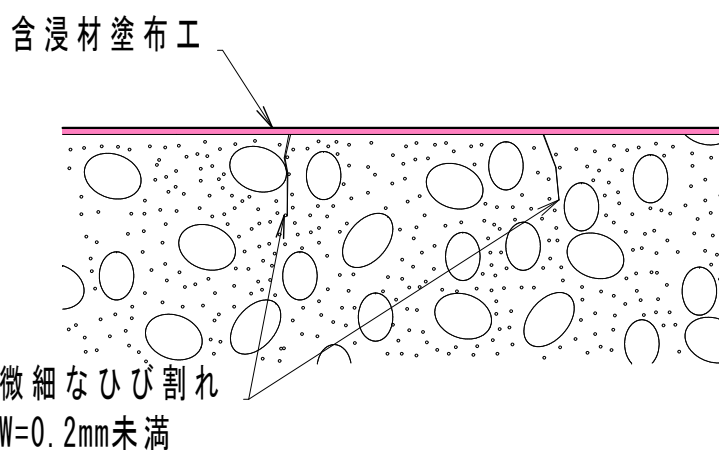
表面含浸工詳細図

【カルシウム材+けい酸塩系含浸材】  
※ひび割れ補修(0.2mm未満)

【作業手順】



※冬季は給熱(5℃以上)



数量表

工法	No.	位置	寸法 (m)	数量 (㎡)	備考
表面含浸工	1	橋面	11.10×3.52	39.07	
合計				39.07	

注記

- 図中の補修設計は、現地調査等に基づくものであり、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の了承を得た上で行うこと。
- 補修箇所及び形状等は現場にて確認すること。
- 施工前に、橋面の清掃を行うこと。
- 交通の障害となる欠損がある場合は、断面修復を先行すること。  
(含浸材塗布は、硬化養生後に行う。)

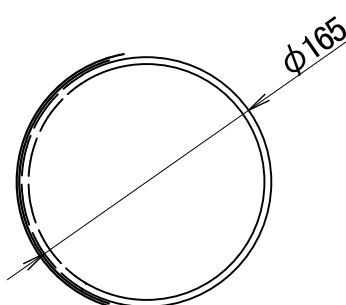
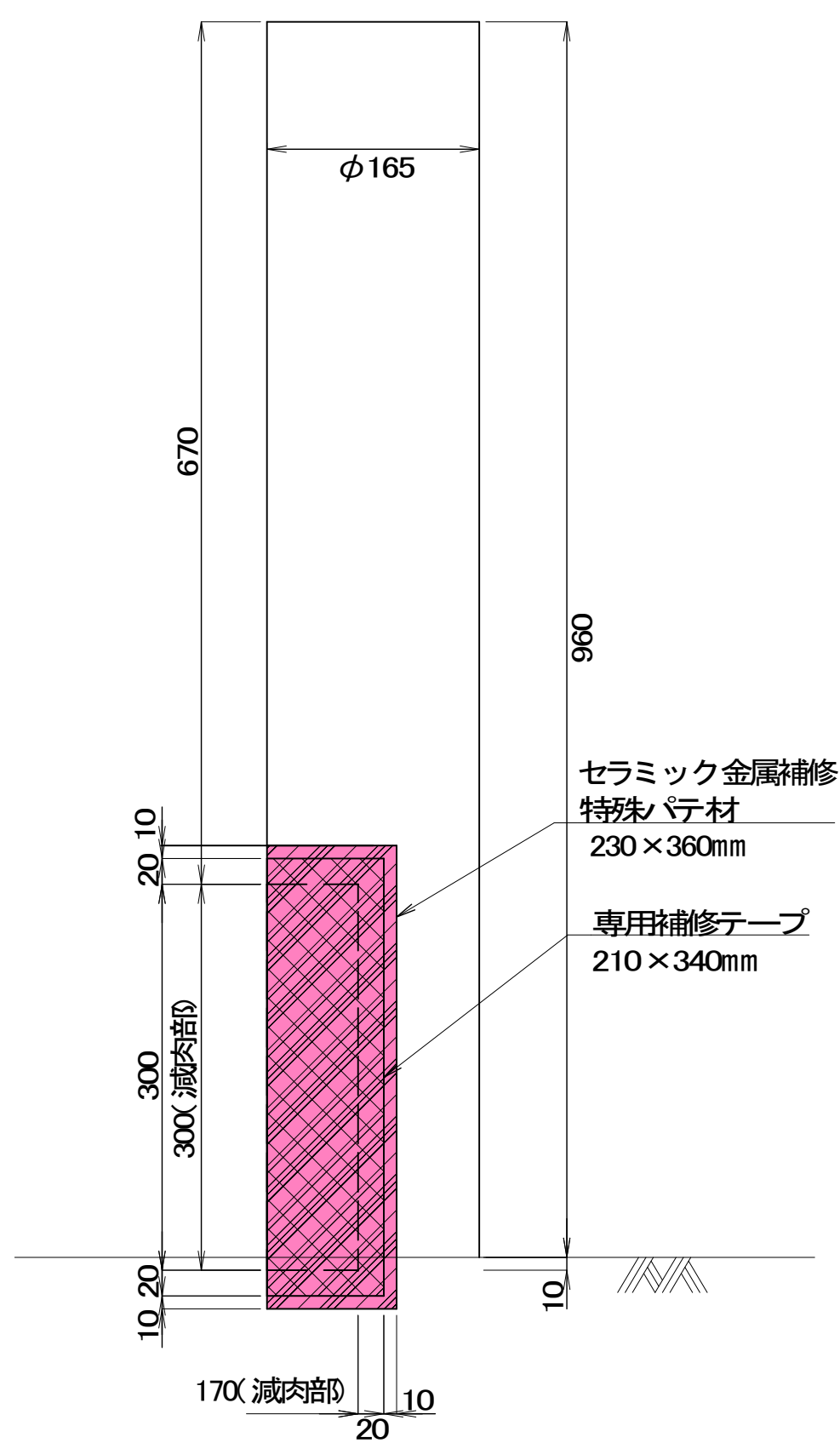
当初設計

令和7年度 工事番号 第 2043 号			
会津若松市 養老町 地内			
糸かけ橋 橋梁補修工事			
橋面補修図			
縮尺	図示	図面 全 7 葉の 6	
設計		製図	検算
会津若松市建設部道路課			

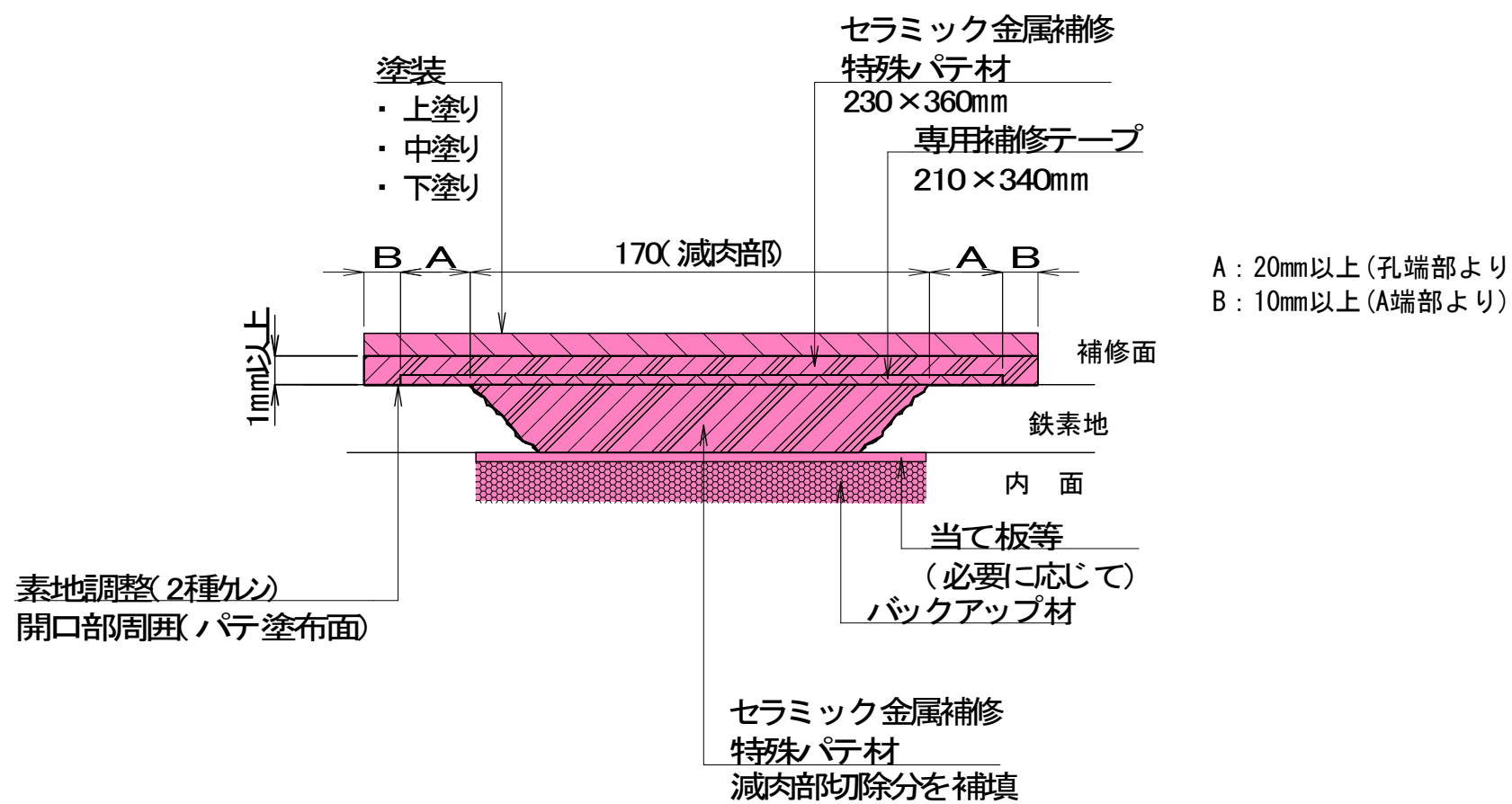


# 糸かけ橋 防護柵(親柱)補修図 1:5

側面図



補修詳細図



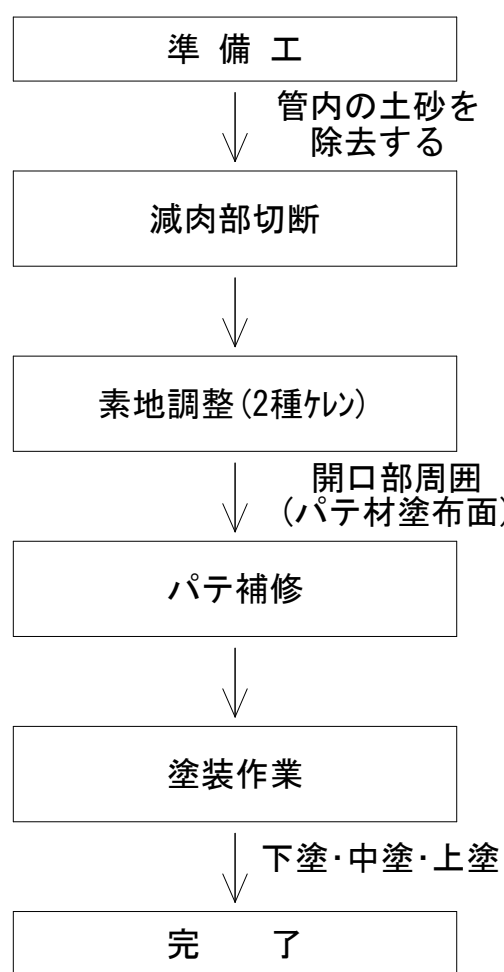
鋼材減肉部パテ補修工 標準施工仕様

施工工程	使用材料	標準使用量×回数	養生時間
1 素地調整	2種ケレン	旧塗膜・さび除去、脱脂、清掃	乾燥後4時間以内
2 パテ補修工	セラミック金属補修特殊パテ		

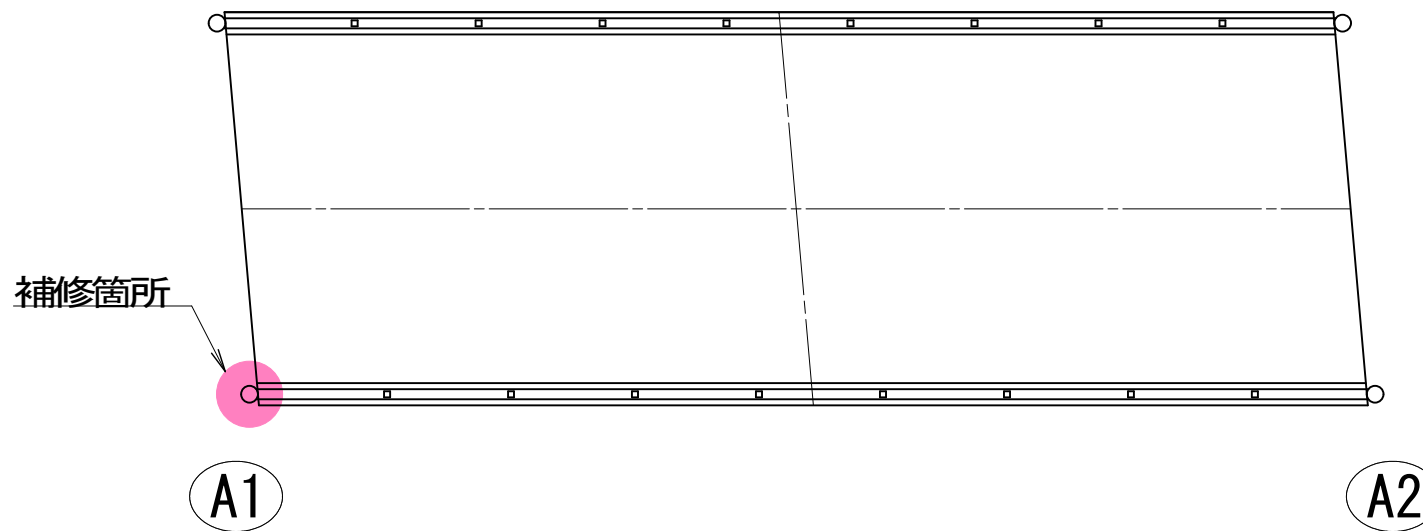
セラミック金属補修パテ(E)材 基本物性

項目	試験結果
引張接着強さ	23.6N/mm2
耐摩耗性(磨耗輪法)	52.0mg
ロッキング硬度Rスケール	115
耐塩水噴霧試験	24,000時間変化なし

施工フロー



位置図



## 注記

- 図中の補修設計は、現地調査等に基づくものであり、工事に際しては現地状況を十分把握し、併せて監督職員の下承を得た上で行うこと。
- 補修箇所及び形状等は現場にて確認すること。
- パテ補修部の素地調整については2種ケレン以上とし、旧塗膜、さびを除去し鋼材面を露出させること。
- 素地調整後から下地材までの時間は4時間以内・速やかに行うこと。
- 使用する塗装材は、上述基本物性の塗装材を使用し、材料の取扱い注意事項に留意すること。

## 当初設計

令和7年度 工事番号 第 2043 号			
会津若松市 養蚕町 地内			
糸かけ橋 橋梁補修工事			
防護柵(親柱)補修図			
縮尺	図示	図面全7葉の7	
設計		製図	検算
会津若松市建設部道路課			